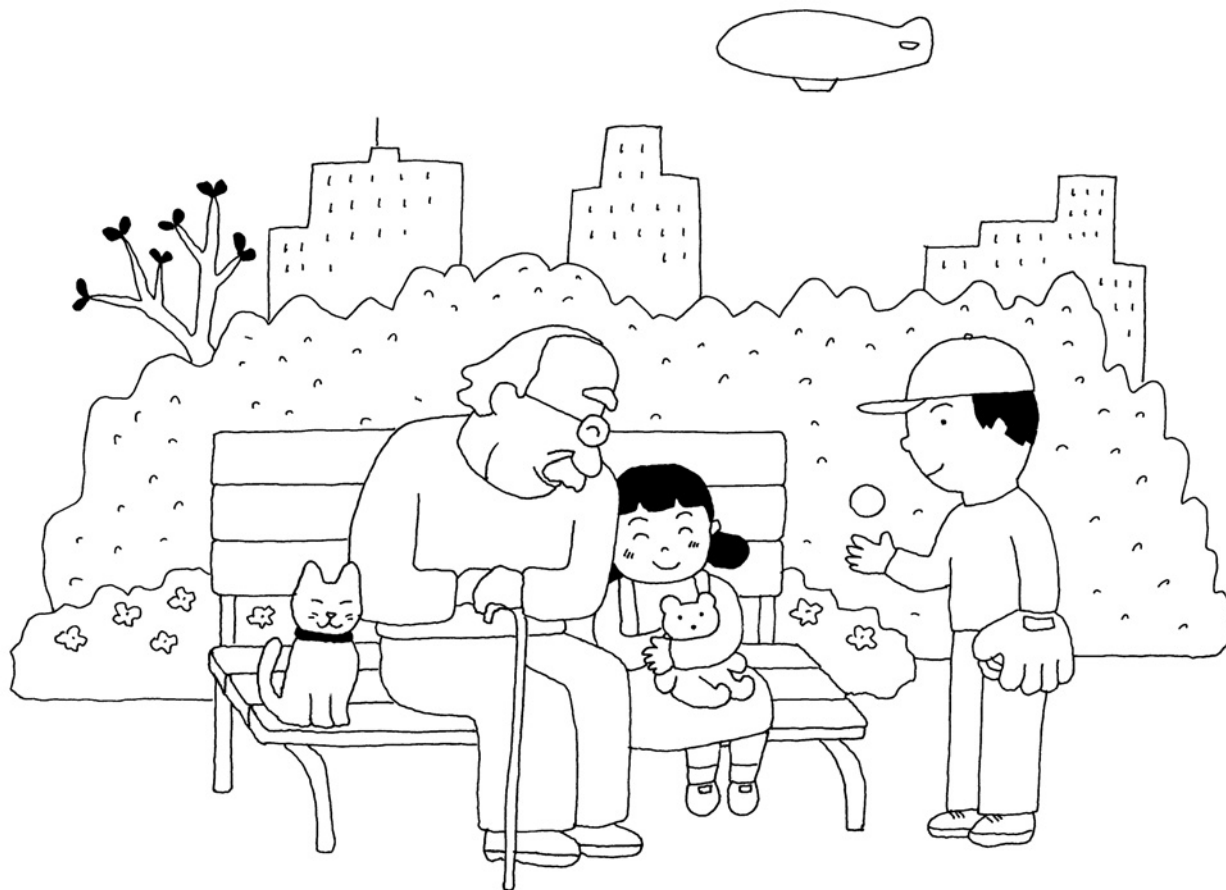


●株主のみなさまへ●

# 第145期中間のご報告

平成19年4月1日～平成19年9月30日



 日本新薬株式会社

## 株主のみなさまへ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成19年度中間期の営業の概況につきましてご報告申し上げます。

なお、中間配当金は1株につき普通配当7円とし、12月10日からお支払いすることといたしました。皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。



代表取締役社長 前川 重信

### 日本新薬企業スローガン

## 健康未来、創ります。

日本新薬は、医薬品や

機能食品の研究開発を通じ、

長くなった人生を

「穏り多く」「健やかに」「いきいき」と

過ごせるよう、

“健康寿命”の延長をめざします。



表紙のイラスト 和田 誠

## Contents

当中間期の概況	2
主力製品売上高	3
製品開発状況	4
中間連結貸借対照表	5
中間連結損益計算書	6
中間連結キャッシュ・フロー計算書(概要)	6
中間連結株主資本等変動計算書	6
中間貸借対照表	7
中間損益計算書	7
中間株主資本等変動計算書	8
会社概要 / 役員	9
株式の状況	10

## 当中間期の概況

当企業集団は堅実な活動を行い、売上高は279億8千7百万円と対前中間期比4.3%の増収となりました。費用面では、原料価格の上昇等により、売上原価率は45.8%と前中間期に比べ0.7ポイント上昇しました。販売費及び一般管理費は、諸経費の節減に加え一部費用が下期にずれ込み、124億2千6百万円と対前中間期比7億6千5百万円の減少となりました。その結果、営業利益は27億5千1百万円と対前中間期比78.5%の増益となりました。また、営業外収益の増加により経常利益は33億6千5百万円と対前中間期比102.3%の増益、中間純利益は18億4千5百万円と対前中間期比128.7%の増益となりました。

医薬品事業においては、主力品目である非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤「ハイペン」が大きく伸長、7月に口腔内崩壊錠を発売した粘膜防御性胃炎・胃潰瘍治療剤「ガスロンN」も伸長しました。一方、競合品の発売などにより、前立腺肥大症治療剤「エビプロスタット」、

頻尿治療剤「ブラダロン」などが伸び悩みましたが、昨年7月にバイエル薬品株式会社から販売権の譲渡を受けたアレルギー性鼻炎治療剤「バイナス」の売上が増収に寄与しました。さらに合成抗菌剤「プルリフロキサシン」原薬の売上と工業所有権等収益が伸長しました。その結果、売上高は228億3千5百万円と対前中間期比4.8%の増収となりました。

機能食品事業においては、加工食品業界、健康食品業界とも厳しい状況が続く中、健康食品素材は伸び悩みましたが、品質安定保存剤は堅調に推移、たん白製剤類はラインアップの強化と販売価格の引き上げにより売上が伸長した結果、売上高は51億5千1百万円と対前中間期比2.2%の増収となりました。

### <企業集団の設備投資の状況>

当中間期の設備投資額は11億6千9百万円で、主たる内容は製造設備、研究開発機器への投資によるものです。

# 主力製品売上高

(百万円)

製品名	薬効	中間期			通期		
		H19年 3月期	H20年 3月期	前年同期 増減率	H18年 3月期	H19年 3月期	H20年 3月期(予)
ハイペン	非ステロイド性鎮痛・抗炎症剤	2,542	3,272	28.7%	5,027	5,383	6,400
エビプロスタット	前立腺肥大症治療剤	2,994	2,800	△6.5%	6,376	5,892	5,600
ガスロンN類	粘膜防御性胃炎・胃潰瘍治療剤	1,831	1,992	8.8%	3,703	3,653	4,000
セレクトール	高血圧・狭心症治療剤 腎実質性高血圧症治療剤	1,955	1,873	△4.2%	4,088	3,855	3,800
ブラダロン類	頻尿治療剤	1,971	1,785	△9.4%	4,036	3,842	3,500
エストラサイト	前立腺癌治療剤	1,474	1,485	0.7%	3,041	2,922	2,900
セファドール類	抗めまい剤	1,496	1,476	△1.3%	3,017	2,938	2,900
キロサイト類	癌多剤併用療法代謝拮抗剤 再発又は難治性急性白血病治療剤	1,344	1,339	△0.4%	2,650	2,697	2,600
レプトーゼ類	出血抑制消炎酵素剤	995	904	△9.1%	2,302	2,156	2,000
アズノールうがい液	アズレン含嗽液	688	720	4.7%	1,514	1,633	1,700
バイナス	アレルギー性鼻炎治療剤	357	652	82.6%	—	1,707	2,500
グリコラン	経口糖尿病用剤	427	465	8.9%	811	867	1,000
オークル	抗リウマチ剤	488	394	△19.3%	1,072	916	700
オドリック	ACE阻害剤	406	363	△10.6%	883	796	700
リボスチン点眼液	抗アレルギー点眼液	279	167	△40.1%	1,236	1,371	1,200
リボスチン点鼻液	抗アレルギー点鼻液	133	100	△24.8%	565	697	600
工業所有権等収益		77	460	497.4%	220	856	900
ブルリフロキサシン原薬		718	827	15.2%	1,445	1,201	1,400
医薬品 計		<b>21,790</b>	<b>22,835</b>	<b>4.8%</b>	<b>44,406</b>	<b>46,541</b>	<b>47,600</b>
機能食品 計		<b>5,042</b>	<b>5,151</b>	<b>2.2%</b>	<b>9,540</b>	<b>9,778</b>	<b>9,900</b>
売上高		<b>26,833</b>	<b>27,987</b>	<b>4.3%</b>	<b>53,946</b>	<b>56,320</b>	<b>57,500</b>

# 製品開発状況

(平成19年11月12日現在)

## 〈国内開発状況〉

開発段階	治験No.(一般名)	領域分類	適応	オリジン	開発
申請中	NS-126	炎症・アレルギー系	アレルギー性鼻炎	導入:日光製薬(エスエス製薬)	自社
申請中	IKH-01	その他	月経困難症(子宮内膜症に伴う)	導入:ノーベルファーマ	販売提携
PⅢ	NS-315(塩酸トラマドール)	炎症・アレルギー系	癌性疼痛(非麻薬性鎮痛剤)	導入:グリュエンタル社(独)	自社
PⅡ	NS-126	炎症・アレルギー系	気管支喘息	導入:日光製薬(エスエス製薬)	自社
PⅡ	NS-11(アカンプロセート)	その他	アルコール依存症	導入:メルクサンテ社(仏)	自社
PⅠ	NS-17(アザシチジン)	血液癌	骨髄異形成症候群	導入:ファーマイオン社(米)	自社
PⅠ	NS-304	循環代謝系	肺高血圧症	自社	自社

## 〈海外開発状況〉

開発段階	治験No.(一般名)	領域分類	適応	オリジン	開発
申請中	NM441 (ブルリフロキサシン)	感染症	合成抗菌剤	自社	導出:柳韓洋行社(韓)
PⅢ					導出:オプティマー社(米)
PⅡ	NS-304	循環代謝系	肺高血圧症	自社	自社:欧州
PⅠ	NS-187	血液癌	慢性骨髄性白血病	自社	導出:イノバイブ社(米)

**NS-126** 1日1回投与の吸入ステロイド剤で、アレルギー性鼻炎について昨年12月に承認申請した。

**IKH-01** 一相性低用量ピル(黄体ホルモンと卵胞ホルモンの混合ホルモン剤)で、欧米では子宮内膜症に伴う月経困難症の第1選択薬として広く使用されている。国内では、ノーベルファーマ社により開発され、2006年10月に申請。2007年7月販売提携契約締結。

**NS-315(塩酸トラマドール)** グリュエンタル社(独)から導入した非麻薬性の経口鎮痛剤で、世界100カ国以上で販売されている。NSAIDsとモルヒネの中間に位置する鎮痛剤として、癌性疼痛を対象にPⅢ試験終了。申請前相談での指摘により追加臨床試験実施中。

**NS-126** 気管支喘息についてPⅡa試験終了。

**NS-11(アカンプロセート)** 2003年メルクサンテ社(仏)から導入したアルコール依存症治療剤で、既に欧米で発売済み。国内ではPⅡ試験実施中。

**NS-304** 自社開発したプロドラッグ型経口剤で、活性代謝物が長時間血中に持続し、強力かつ選択的なPGI<sub>2</sub>アゴニスト活性を示す。肺高血圧症治療剤として、欧州医薬品局よりオーファン指定済み。欧州でPⅡ試験、国内PⅠ試験をそれぞれ開始した。

**NS-187** グリベック耐性変異体Bcr-ablチロシンキナーゼとLynチロシンキナーゼを強力に阻害、グリベック耐性にも奏効する慢性骨髄性白血病治療剤として開発。2005年末にイノバイブ社(米)へ導出。PⅠ試験実施中。

**NS-17(アザシチジン)** 2006年ファーマイオン社(米)から導入した骨髄異形成症候群(MDS)治療剤で、米国で第一選択薬として用いられている。全てのMDSサブタイプに効果が認められ、白血病(AML)への転化を遅らせる。作用機序は、血液形成細胞DNAのメチル化阻害。10月よりPⅠ試験を開始。

## 中間連結貸借対照表

### ● 中間連結貸借対照表

(百万円)

	前期 平成19年3月31日現在	当中間期 平成19年9月30日現在
<b>【資産の部】</b>	<b>(104,872)</b>	<b>(103,546)</b>
<b>流動資産</b>	<b>51,849</b>	<b>52,509</b>
現金及び預金	10,893	11,871
受取手形及び売掛金	28,194	27,066
有価証券	1,199	1,099
棚卸資産	8,770	9,762
繰延税金資産	1,558	1,449
その他	1,233	1,259
貸倒引当金	△0	△0
<b>固定資産</b>	<b>53,023</b>	<b>51,037</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>20,925</b>	<b>21,063</b>
建物及び構築物	9,667	9,310
土地	8,173	8,172
その他	3,084	3,580
<b>無形固定資産</b>	<b>186</b>	<b>244</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>31,912</b>	<b>29,729</b>
投資有価証券	24,130	22,105
繰延税金資産	50	53
投資不動産	1,399	1,375
長期前払費用	5,314	4,951
その他	1,145	1,285
貸倒引当金	△128	△41
<b>合計</b>	<b>104,872</b>	<b>103,546</b>

(百万円)

	前期 平成19年3月31日現在	当中間期 平成19年9月30日現在
<b>【負債の部】</b>	<b>(28,659)</b>	<b>(26,903)</b>
<b>流動負債</b>	<b>14,129</b>	<b>14,014</b>
支払手形及び買掛金	4,050	4,116
短期借入金	30	30
一年内返済予定長期借入金	1,203	1,192
未払金	3,429	3,678
未払法人税等	1,382	1,195
賞与引当金	2,356	2,301
返品調整引当金	10	13
その他	1,667	1,485
<b>固定負債</b>	<b>14,530</b>	<b>12,889</b>
長期借入金	1,224	632
繰延税金負債	3,627	2,922
退職給付引当金	9,363	9,033
その他	314	300
<b>【純資産の部】</b>	<b>(76,213)</b>	<b>(76,642)</b>
<b>株主資本</b>	<b>66,900</b>	<b>68,295</b>
資本金	5,174	5,174
資本剰余金	4,440	4,440
利益剰余金	59,119	60,558
自己株式	△1,834	△1,877
<b>評価・換算差額等</b>	<b>9,169</b>	<b>8,200</b>
その他有価証券評価差額金	9,168	8,194
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	0	3
<b>少数株主持分</b>	<b>143</b>	<b>146</b>
<b>合計</b>	<b>104,872</b>	<b>103,546</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 中間連結損益計算書／中間連結キャッシュ・フロー計算書(概要)／中間連結株主資本等変動計算書

## ● 中間連結損益計算書

(百万円)

	前中間期	当中間期
	自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	自平成19年4月1日 至平成19年9月30日
売上高	26,833	27,987
売上原価	12,103	12,806
返品調整引当金繰入額	△3	2
売上総利益	14,733	15,177
販売費及び一般管理費	13,191	12,426
営業利益	1,541	2,751
営業外収益	443	922
営業外費用	321	308
経常利益	1,663	3,365
税金等調整前中間純利益	1,663	3,365
法人税、住民税及び事業税	452	1,092
法人税等調整額	398	424
少数株主利益	5	3
中間純利益	806	1,845

## ● 中間連結キャッシュ・フロー計算書(概要)

(百万円)

	前中間期	当中間期
	自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	自平成19年4月1日 至平成19年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,353	2,674
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,998	△649
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,386	△1,052
現金及び現金同等物に係る換算差額	38	5
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△1,993	977
現金及び現金同等物の期首残高	13,753	11,312
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,760	12,290

当中間期の売上高	27,987百万円	(対前中間期比 4.3%増収)
営業利益	2,751百万円	(対前中間期比 78.5%増益)
経常利益	3,365百万円	(対前中間期比 102.3%増益)
中間純利益	1,845百万円	(対前中間期比 128.7%増益)
医薬品事業の売上高	22,835百万円	(対前中間期比 4.8%増収)
機能食品事業の売上高	5,151百万円	(対前中間期比 2.2%増収)

## ● 中間連結株主資本等変動計算書

(自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)

(百万円)

	株主資本				評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定			評価・換算 差額等合計
平成19年3月31日 残高	5,174	4,440	59,119	△1,834	66,900	9,168	0	0	9,169	143	76,213
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当			△406		△406						△406
中間純利益			1,845		1,845						1,845
自己株式の取得				△44	△44						△44
自己株式の処分		0		0	0						0
株主資本以外の項目の中間連結会計 期間中の変動額(純額)						△973	0	3	△969	2	△966
中間連結会計期間中の変動額合計	—	0	1,439	△43	1,395	△973	0	3	△969	2	429
平成19年9月30日 残高	5,174	4,440	60,558	△1,877	68,295	8,194	1	3	8,200	146	76,642

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 中間貸借対照表 / 中間損益計算書

## ● 中間貸借対照表

(百万円)

	前期 平成19年3月31日現在	当中間期 平成19年9月30日現在
<b>【資産の部】</b>	<b>(102,449)</b>	<b>(100,905)</b>
<b>流動資産</b>	<b>50,620</b>	<b>51,132</b>
現金及び預金	10,281	11,024
受取手形	343	314
売掛金	27,804	26,755
有価証券	1,199	1,099
棚卸資産	8,276	9,266
繰延税金資産	1,516	1,410
その他	1,197	1,261
<b>固定資産</b>	<b>51,828</b>	<b>49,772</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>19,661</b>	<b>19,735</b>
建物	8,427	8,124
土地	8,028	8,028
その他	3,205	3,583
<b>無形固定資産</b>	<b>175</b>	<b>230</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>31,991</b>	<b>29,806</b>
投資有価証券	24,127	22,101
投資不動産	1,399	1,375
長期前払費用	5,313	4,951
その他	1,278	1,418
貸倒引当金	△127	△40
<b>合計</b>	<b>102,449</b>	<b>100,905</b>

## ● 中間損益計算書

(百万円)

	前中間期 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	当中間期 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日
売上高	26,763	27,903
売上原価	12,145	12,828
返品調整引当金戻入額	11	10
返品調整引当金繰入額	8	13
売上総利益	14,621	15,072
販売費及び一般管理費	13,202	12,417
営業利益	1,419	2,655
営業外収益	460	918
営業外費用	299	298
経常利益	1,579	3,274
税引前中間純利益	1,579	3,274
法人税、住民税及び事業税	440	1,050
法人税等調整額	379	426
中間純利益	760	1,797

(百万円)

	前期 平成19年3月31日現在	当中間期 平成19年9月30日現在
<b>【負債の部】</b>	<b>(28,419)</b>	<b>(26,500)</b>
<b>流動負債</b>	<b>14,149</b>	<b>13,838</b>
支払手形	138	211
買掛金	4,357	4,178
一年内返済予定長期借入金	1,112	1,112
未払金	3,309	3,469
未払法人税等	1,325	1,152
賞与引当金	2,300	2,250
返品調整引当金	10	13
その他	1,596	1,450
<b>固定負債</b>	<b>14,270</b>	<b>12,662</b>
長期借入金	1,102	546
繰延税金負債	3,625	2,922
退職給付引当金	9,238	8,900
その他	304	293
<b>【純資産の部】</b>	<b>(74,029)</b>	<b>(74,404)</b>
<b>株主資本</b>	<b>64,860</b>	<b>66,208</b>
資本金	5,174	5,174
資本剰余金	4,440	4,440
資本準備金	4,438	4,438
その他資本剰余金	1	2
利益剰余金	57,079	58,471
利益準備金	1,293	1,293
その他利益剰余金	55,785	57,177
配当準備積立金	800	800
特別償却積立金	101	86
固定資産圧縮積立金	1,932	1,926
別途積立金	49,470	51,470
繰越利益剰余金	3,481	2,894
自己株式	△1,834	△1,877
<b>評価・換算差額等</b>	<b>9,169</b>	<b>8,196</b>
その他有価証券評価差額金	9,168	8,194
繰延ヘッジ損益	0	1
<b>合計</b>	<b>102,449</b>	<b>100,905</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 中間株主資本等変動計算書

## ● 中間株主資本等変動計算書 (自平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

(百万円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			
					配当準備積立金	特別償却積立金	固定資産圧縮積立金	固定資産圧縮特別勘定積立金	
平成19年3月31日 残高	5,174	4,438	1	4,440	1,293	800	101	1,932	—
中間会計期間中の変動額									
特別償却積立金の取崩し							△15		
固定資産圧縮積立金の取崩し								△6	
別途積立金の積立て									
剰余金の配当									
中間純利益									
自己株式の取得									
自己株式の処分			0	0					
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)									
中間会計期間中の変動額合計	—	—	0	0	—	—	△15	△6	—
平成19年9月30日 残高	5,174	4,438	2	4,440	1,293	800	86	1,926	—

	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
	別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計						
平成19年3月31日 残高	49,470	3,481	57,079	△1,834	64,860	9,168	0	9,169	74,029
中間会計期間中の変動額									
特別償却積立金の取崩し		15	—		—				—
固定資産圧縮積立金の取崩し		6	—		—				—
別途積立金の積立て	2,000	△2,000	—		—				—
剰余金の配当		△406	△406		△406				△406
中間純利益		1,797	1,797		1,797				1,797
自己株式の取得				△44	△44				△44
自己株式の処分				0	0				0
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)						△973	0	△972	△972
中間会計期間中の変動額合計	2,000	△586	1,391	△43	1,348	△973	0	△972	375
平成19年9月30日 残高	51,470	2,894	58,471	△1,877	66,208	8,194	1	8,196	74,404

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 会社概要／役員

## ● 会社概要

創 立	大正8年10月1日
資 本 金	52億円(東証一部・大証一部上場)
従 業 員 数	1,677名
事業内容・主要製品	<p>&lt;医薬品事業&gt;</p> <p>泌尿器官用薬剤、炎症・アレルギー用薬剤、血液がん用薬剤、循環器系及び代謝性薬剤、消化器官用薬剤</p> <p>&lt;機能食品事業&gt;</p> <p>調味・香辛料、健康食品素材、品質安定保存剤、たん白製剤、除菌・洗浄剤、小麦製品</p>

## 連結子会社

会 社 名	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
シオエ製薬株式会社	30百万円	100%	医薬品、機能食品の製造
タジマ食品工業株式会社	50百万円	83.5%	医薬品、機能食品の製造および機能食品の受託製造
NS Pharma, Inc.	US\$ 300千	100%	医薬品の導出入業務および臨床開発業務
ラプラスファルマ株式会社	10百万円	100%	機能食品(健康食品)の販売

## ● 役員 (平成19年9月30日現在)

代表取締役会長	初 山 一 登	(ご参考)	
代表取締役社長	前 川 重 信	執 行 役 員	板 橋 一 成
常 務 取 締 役	柴 田 芳 久	執 行 役 員	荒 井 秀 夫
常 務 取 締 役	左 合 敏 彦	執 行 役 員	井 上 吉 郎
取 締 役	鷲 見 信 好	執 行 役 員	中 道 孝 一
取 締 役	矢 野 純 一	執 行 役 員	桜 井 太 郎
取 締 役	足 立 博 司	執 行 役 員	鶴 飼 洋 司 郎
		執 行 役 員	野 村 武
常 勤 監 査 役	鳥 山 陽 一	執 行 役 員	阪 田 徹
常 勤 監 査 役	永 井 貞 泰	執 行 役 員	福 島 和 夫
社 外 監 査 役	田 辺 保 雄	執 行 役 員	今 野 良 雄
社 外 監 査 役	西 川 一		

# 株式の状況

## ● 株式の状況

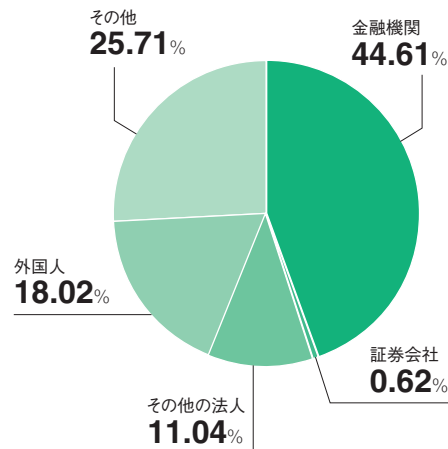
(平成19年9月30日現在)

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	70,251,484株
株主数	6,416名

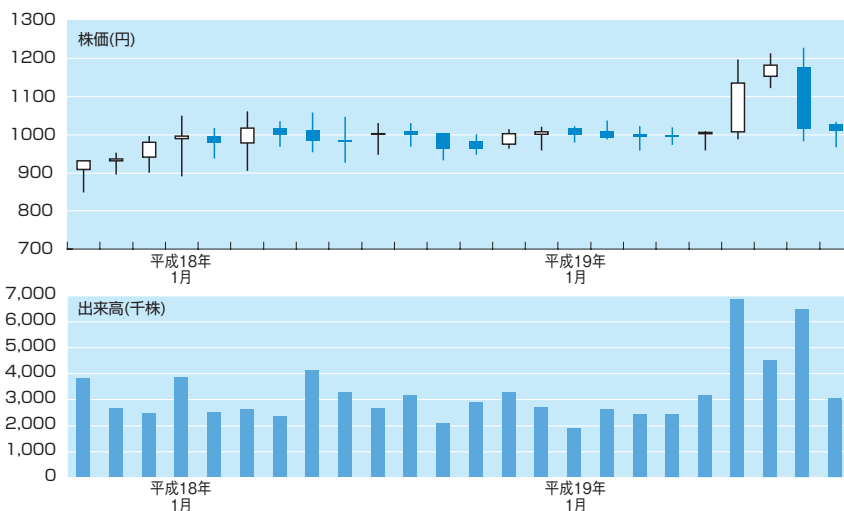
## ● 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
明治安田生命保険相互会社	6,570	9.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,491	4.97
日本生命保険相互会社	3,374	4.80
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,315	4.72
株式会社京都銀行	3,090	4.40
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,024	2.88
東京海上日動火災保険株式会社	1,958	2.79
三菱商事株式会社	1,732	2.47
パーシングデイヴィジョンオプドナルドソンラフキン アンドジェンゼットエスイーシーコーポレーション	1,526	2.17
日本新薬従業員持株会	1,373	1.95

## ● 所有者別株主分布状況



## ● 株価／出来高の推移 (平成17年10月～平成19年9月)



# 株主メモ

決算期	3月31日
期末配当受領株主確定日	3月31日
中間配当受領株主確定日	9月30日
定時株主総会招集時期	6月(同総会権利行使株主確定日 3月31日)
1単元の株式数	1,000株
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 (当社ホームページ <a href="http://www.nippon-shinyaku.co.jp/">http://www.nippon-shinyaku.co.jp/</a> に掲載しています。)
株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	中央三井信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目2番21号 電話お問い合わせ先／フリーダイヤル 0120-78-2031 (9:00~17:00)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社本店および全国各支店 日本証券代行株式会社本店および全国各支店
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 株式会社大阪証券取引所
証券コード	4516

## お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙ご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル 0120-87-2031 (自動音声案内) で24時間受付しております。

## 単元未満株式の買増制度についてのご案内

単元未満株式を有する株主様は、当社に対しその単元未満株式の数と併せて1単元になる数の株式を買増請求することができます。お手續などの詳細につきましては株主名簿管理人あてご照会ください。なお、保管振替制度ご利用の株主様はお取引証券会社あてご照会ください。



## 日本新薬株式会社

〒601-8550 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14  
<http://www.nippon-shinyaku.co.jp/>  
TEL 075-321-1111 (大代)



この印刷物は環境に考慮し、大豆インキ・水なしオフセット印刷・針金を使用しない製本で制作しています。

